

令和元年度 事務事業総点検シート(1)
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			簡易点検
事務事業名	自立生活訓練	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	健康福祉 局	障害福祉 部	障害施策推進 課	評価責任者(課長名)	長尾

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け
			施策	3	障害者等が自分らしく輝いて暮らせる地域社会の実現	無
	2	事業開始年度	平成 16 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(略称・障害者総合支援法)			
	4	関連計画	第4次障害者長期計画、第5期堺市障害福祉計画・第1期堺市障害児福祉計画			
5	事業実施の経緯	親亡き後を見据え、将来的に地域での自立生活を望む障害者に対し、訓練の場を設ける必要があった。				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 () <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ()			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市の区域内に住所を有する義務教育終了後の15歳以上で、障害者手帳を所持する者等。			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	地域で自立して生活をしていくことを希望する障害者(児)に適切な日常生活訓練の機会を提供することにより、障害者(児)の自立生活に必要な力及び自立意欲を高めるきっかけを作る。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<ul style="list-style-type: none"> これまで家族からほとんど離れたことがない障害者(児)が、慣れた支援者が傍に付いた状態で家族と離れて外泊し、宿泊体験を通じて成功体験を積みながら、将来の自立生活につながるきっかけ作りを行う。 事業所の空き部屋などを利用する。 登録事業者を募集し、利用者から体験希望があれば、委託契約(単価契約)を行う。 			
	10	直接実施以外の主な支出先	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 () 障害福祉サービス事業者			

Ⅲ. 投入量

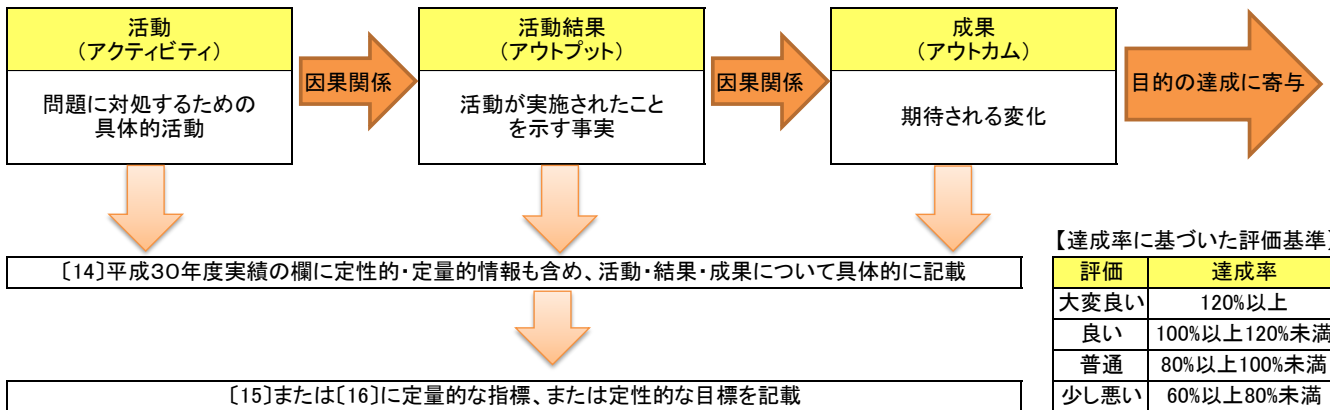
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11 事業費 (a)	千円	54	72	323	694	
	主な事業費内訳	委託料	千円	54	72	323	694
			千円				
			千円				
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円				
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他()	千円				
	12 人件費 (b)	千円	820	820	820	810	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	874	892	1,143	1,504		

令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	自立生活訓練	シート番号	11-109
-------	--------	-------	--------

≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

事業の活動内容や成果

		平成30年度実績						
活動実績と成果	14	<p>平成30年度は4か所の訓練施設で当該事業を実施した。訓練利用終了時の利用者アンケートでは、全利用者から「よかった」という声を得ており、また、支援者からも利用者の状況に応じた適切な訓練を継続していく意向があったことから、当該事業が障害者(児)の自立生活に向けた訓練の場として役立っていることがわかった。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		訓練施設数	か所	目標値	10	5	5	5
				実績値	3	3	4	
				達成率	30%	60%	80%	
				評価	悪い	少し悪い	普通	
		算出方法・設定根拠など		登録施設数				
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		訓練利用者の満足度	%	目標値	70	70	70	80
				実績値	100	100	100	
				達成率	143%	143%	143%	
				評価	大変良い	大変良い	大変良い	
		算出方法・設定根拠など		訓練利用終了時の利用者アンケート				

業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	目標である登録訓練施設数は、夜間の人員体制の確保が困難である等の理由で目標数には到達せず、4か所となった。 利用者については、利用希望者の安定した体調やモチベーションを継続し続けることによって利用へと至ることになるが、対象者はこれまでに宿泊訓練をしたことがない方が多いため、利用へ繋げるまでに時間を要していることから、年々増加しているものの少数にとどまっている。

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。